

# KIITO:

「つくる」から生まれる学びの可能性を探る  
トークイベント「つくると学ぶの交差点」を開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、子どもの創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300 キャンプ」の取り組みとして、トークイベント「つくると学ぶの交差点 一造形対話がひらく、創造性とコミュニケーション」を開催します。表現や創作活動といった「つくること」を通じて得られる学びは、単なる知識の習得にとどまらず、ものごとに対する深い理解へとつながります。特に、完成という「結果」のみを追求するのではなく、対話を重ねながらアイデアを形にしていくなど、試行錯誤を繰り返す「プロセス」に価値を億「造形対話」の考え方は、次世代に求められる思考力や創造性を自然に育むきっかけとなります。

本イベントでは、学習環境デザイナーの山内佑輔さんをゲストにお迎えします。山内さんは、デジタルツールやクラフトを駆使して子どもの着想を具現化するコミュニティ「VIVISTOP NITOBÉ」をはじめ、文化施設や教育機関など、多種多様な地域で多世代が共創できる場の設計・運営に尽力されてきました。

当日は「造形とコミュニケーション」をテーマに掲げ、現場での実践知を交えながら、創作活動から生まれる新たな学びの可能性を紐解きます。体験型学習の設計に関心のある教育関係者から、子どもの創造性を育む活動に携わる方まで、幅広い層に向けた対話の場を提供します。

【開催概要】

催事名：つくると学ぶの交差点 一造形対話がひらく、創造性とコミュニケーション

日時：2026年2月8日（日）18:00～20:00

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F KIITO:300

ゲスト：山内 佑輔（学習環境デザイナー/東京造形大学特任准教授）

定員：40名程度（要申込・先着順）

参加費：無料

対象：子どもの教育や創造性を育む活動に興味・関心のある方

申込み：ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください

申込期間：1月9日（金）15:00から KIITO ウェブサイトにて申し込み

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

【KIITO:300 キャンプとは？】



「KIITO:300（キイトサンマルマル）キャンプ」では、子どもたちを対象に、デザイナーや建築家などのクリエイターや企業を講師に迎えたワークショップに加え、工作・ボードゲームといった常設のプログラムを通じ、学びの機会創出に取り組んでいます。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーも開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施しています。

## 【ゲストプロフィール】



山内 佑輔（学習環境デザイナー/東京造形大学特任准教授）

大学職員、公立小学校の図工専科教員を経て、2020年4月に新渡戸文化学園へ着任。こどもたちがやりたいと思う気持ちのままにつくったり試したりできる、偶然性に開かれた空間「VIVISTOP」を運営するVIVITAと連携し、新渡戸文化学園内にVIVISTOP NITobeを開設し、その運営を担当。2025年から東京造形大学特任准教授に就任。

「造形とコミュニケーション」を軸に、企業・行政と協働しながら、多世代が創造的に関わる場の設計・運営を行い、対話から新しい価値を共に生み出す。自らもクリエイターとして表現するPodcast番組「山あり谷あり放送室」は、第3回JAPAN PODCAST AWARDS ベストウェルビーイング賞ノミネート。2021年キッズデザイン賞最優秀賞内閣総理大臣賞受賞、2025年キッズデザイン賞奨励賞、その他キッズワークショップアワード優秀賞、東京新聞教育賞等を受賞。



左・中央：VIVISTOP NITobeでのイベントの雰囲気及び普段の活動の様子 右：新聞紙をつかった造形ワークショップの様子